



美術領域では、理論と制作の両面における創造的かつ実践的な美術教育の確立を目指し「かんがえる、つくる、みる、つたえる」という4つの作業を相互に関係付けながら新しい教育方法を探っています。



兵庫教育大学大学院学校教育研究科人間発達教育専攻
芸術表現系教育コース（美術） 開設授業科目



- 図画工作・美術科教育研究
- 図画工作・美術科学習論
- 美術史学の基礎と批評
- 美術批評と「鑑賞」教育
- 造形活動の基礎Ⅰ（絵画）
- 造形活動の基礎Ⅱ（彫塑）
- 造形活動の基礎Ⅲ（デザイン）
- 造形活動の基礎Ⅳ（工芸）
- 造形活動の基礎Ⅴ（版画）
- 造形表現の知識と技能Ⅰ（絵画）
- 造形表現の知識と技能Ⅱ（彫塑）
- 造形表現の知識と技能Ⅲ（デザイン）
- 造形表現の知識と技能Ⅳ（工芸）
- 課題研究
- アート・コミュニケーション演習



芸術表現系教育コース（美術） 教員紹介



浅海真弓
工芸担当

竊芸を中心に、工芸の素材、技法を用いた造形表現の在り方について研究しています。



大西 久
絵画担当

現代絵画を中心に形象、色彩、素材等の相互作用による表現の多様性と深化について研究しています。



垣内敬造
デザイン担当

デザインや職業としてのデザイナーの概念を歴史や理論から研究し、社会的な課題解決に結びつけることを目指しています。



喜多村明里
美術理論・美術史担当

人文科学としての美術史学を目指しています。人間と人間がつくった「美」なるもの、造形物に関するすべてを考えなければ、と思います。専門はイタリア・ルネッサンス。



前芝武史
彫塑担当

専門は塑造による具象彫刻の制作および彫塑造形論・彫塑教育論です。実技、造形論、教育論の相関的かつ一体的な研究を試みています。